

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二〇（令和二）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 B日程〉

国語

二〇二〇（令和二）年二月六日（木）

九時～九時五〇分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入すること。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入すること。
- 三. 解答用紙だけを提出すること。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めた箇所があります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(青木保『異文化理解』より)

問一 本文中のⅠⅡⅢに当てはまる語句としてふさわしいものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア そして イ たとえば ウ つまり エ あるいは オ ただ

問二 ——部(1)「三つのレベル」について、次のア～エの例はどのレベルにあてはまるかを判断し、「自然」のレベルであればA、「社会的」レベルであればB、「象徴」のレベルであればCを、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- ア 日本の学校では授業の最初と最後に礼をするが、欧米諸国ではそういうことをしない。
イ ある宗教の信者たちは、一日に数回特定の方向に向かって祈りをささげる時間を持つ。
ウ 自転車をこいでいたら転倒したが、身を守るためとっさに怪我をしない体勢をとった。
エ シンガポールではガムの販売が禁止されており、海外からの持ち込みも認められない。

問三 ——部(2)「スリランカ人が血相を変えて飛んできます」について、その理由を三十字以内で答えなさい。(ただし、句読点も一字とし、以下同様とします。)

問四 ——部(3)「消化」とは、ここではどのようにすることですか。それを説明した次の文の空欄を補うのにふさわしい表現を、四十字以内で答えなさい。

異なる社会に行ったとき、普通に育ってきて得られた常識を前提とし、() () こと。

問五 本文中では国旗と国との関係はわかりにくいという趣旨の話がされていますが、なぜわかりにくいのですか。説明しなさい。

問六 以下は、この文章を読んだ生徒たちの会話を記録したものです。それぞれの生徒の発言を読み、この文章における筆者の主張を正しく理解していると思われる生徒を一名選んで、ア～オの記号で答えなさい。

- ア 生徒A — 衣食住に関わることは環境や文化が異なると当然違うから、そういった部分に共通性を求めるのは無理なようだね。
- イ 生徒B — 「郷に入りては郷に従え」とことわざにもあるよね。その国の習慣に従えば、万事が上手くいくというわけだね。
- ウ 生徒C — そんなに簡単かな。異文化の理解には、表面的なものだけではなく長い時間に培われた部分へも目を向ける必要があるよ。
- エ 生徒D — その社会の習慣は長い時間をかけて培われたものだから、一朝一夕には伝わらず、結局は物別れに終わるしかないのよ。
- オ 生徒E — そうかしら。異文化の理解には、学習が大切だと思うわ。生活の様式やルールを学ぶことで、必ず理解できるはずよ。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

寛次郎かんじろうは石工職人の親方のもとで修業に励んでいた。その後新たに捨吉すてきち(申吉さるきち)が弟子入りし、数年が過ぎた。腕に自信を覚えるようになった寛次郎と、得体の知れぬなにかに動かされて彫っているのではないかと感じ始めた捨吉、二人に腕くらべの話が持ちかけられた。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(田中彩子『石の神』より)

問一 ~~~~~部A「眉をひそめた」、B「魔が差した」の意味としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

A「眉をひそめた」

- ア 意外に思った
- イ 不安に思った
- ウ 心苦しく思った
- エ 不快に思った
- オ 腹立たしく思った

B「魔が差した」

- ア 間違った判断をした
- イ 新たな考えが浮かんだ
- ウ 思いがけず驚いた
- エ 本心を押し殺した
- オ すっかり疲れ果てた

問二 ———部(1)「わかりました」について、ここではどのようなことを了解したのですか。十五字以内で答えなさい。

問三 ———部(2)「あんなふうには人から見られたのは———まともに人を見たのは」から、寛次郎と捨吉についてどのようなことが読み取れますか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 仕方なく勝負に挑もうとしている寛次郎と、やるからには勝ちたいと思いはじめた捨吉。

イ 絶対に負けられないと闘志を燃やす寛次郎と、いまだに勝負を面倒くさがっている捨吉。

ウ 真剣に勝負に取り組もうとしている寛次郎と、その真剣さに触発されつつある捨吉。

エ 短時間でも修練に余念のない寛次郎と、勝敗に関わらず早く勝負を終わらせたい捨吉。

オ 信念を持って勝負に挑もうとする寛次郎と、口車に乗せられ勝負することになった捨吉。

問四 本文中の「*」の前後では、小説の形式上大きな変化が見られます。どのように変わっているかをわかりやすく説明しなさい。

問五 ———部(3)「なんだこれは」について、ここでの寛次郎の気持ちを三十字以内で説明しなさい。

問六 ———部(4)「どう見たって申吉の地蔵のほうか———」について、ここで寛次郎は何を言うつもりだったのですか。その内容を解答欄に
合わせて十字以内で考えて答えなさい。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めた箇所があります。)

【古文】

著作物保護のため掲載を控えます

(『浮世物語』より)

【現代語訳】

著作物保護のため掲載を控えます

問一 ~~~~~部A「をのれ」、B「思ひて」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問二 |||||部②「あまた」、③「そしる」のここでの意味としてふさわしいものを、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---------|------|---------|----------|
| ② 「あまた」 | | ③ 「そしる」 | |
| ア | 偶然 | ア | 笑っていた |
| イ | 大勢 | イ | 知り合いになった |
| ウ | だんだん | ウ | 非難していた |
| エ | わざわざ | エ | 息抜きした |

問三 ——部(1)「仏ぢや」について、「小者」はどのような意味でこう言い直したのですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 仏のように恐ろしい イ 仏のように神出鬼没だ ウ 仏のように慈悲深い エ 仏のように不可思議だ

問四 ——部(2)「隠したる事のあらはれざるはなし」を現代語に直しなさい。

問五 【古文】中の に入る言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 壁に耳あり イ 石の上にも三年 ウ 他山の石 エ 鬼の目にも涙

四

次の①～⑩の——部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで書きなさい。

- ① 自然から豊かなオンケイを受ける。
- ② 台風で交通網がコンランする。
- ③ 日本にオリンピックをショウチする。
- ④ ケワしい山道に悪戦苦闘する。
- ⑤ 準備をして試験にノゾむ。
- ⑥ 新作発表にむけて筆を執る。
- ⑦ 非常に大きな影響を被る。
- ⑧ 立派な額縁に入れて飾る。
- ⑨ 人生の岐路に立っている。
- ⑩ 環境問題に警鐘をならす。